

単元名	おなづかSDG s		学年	5 年生
内容	A_ものづくり	(イ) オリジナルグッズの制作・販売型	総時間数	35
目標	4 年生で実践したSDG s についての取組を、更に広げたり深めたりする。校内で行っているエコキャップ回収活動の意義や仕組みを詳しく学ぶことを通して、学校内外に宣伝するためにはどのようにすればよいか協働的に考え、実行策を企画し実現できるようにする。			
指導計画の概要				
学習過程	主な学習活動			外部連携・教材等
コンセプト	・ 近隣の幼稚園、保育園の要望を受け、エコキャップ回収活動の啓発に必要な取組を考える。 ・ エコキャップ回収活動をしている企業の取組や、回収後のエコキャップがどうなるのかを学ぶことで、SDG s に取り組む意義の理解を深める。 ・ 日本工学院大学との連携を通して、工業や産業に携わるために必要な専門技術、デザインをするために必要な知識、商品開発のためのポイントやアイディア等への理解を深める。 ・ エコキャップ回収活動をさらに広めるためにはどうすればいいのかを考え、キャラクターのデザイン化や商品化に向けた情報を収集・分析しコンセプトを設定する。			近隣の幼稚園 保育園 日本工学院大学
デザイン	・ 「エコキャップ回収活動をさらに広めるためのキャラクター」となりうるデザインをするために必要な内容・方法に関する知識・技能を身に付ける。 ・ コンセプトに合った機能、効果、外観、キャッチコピーなどによるデザインを考える。 ・ 日本工学院大学からの助言を受け、デザインの改良に取り組む。			日本工学院大学
クリエイション	・ デザインしたキャラクターをプレゼンテーションにしてまとめ、わかりやすく伝えるために必要な内容・方法に関する知識・技能を身に付ける。ゲストティーチャーの方々にも、まとめの発表に来てもらい、指導助言をいただく。 ・ 振り子や電流の仕組みを生かしてキャラクターを商品化し、提案方法を工夫して地域に向けて発信する。 ・ 提案に向けた準備に自他のよさを生かして役割を分担するなど協働的に取り組むとともに、プレゼンテーションへのフィードバックを受け止めて取り組みを振り返り、価値や改善点を見いだす。			地域の方々 日本工学院大学
本単元を行うために授業時数を削減する教科等、本単元で補完する内容及び削減する授業時数				
教科名等	本単元で補完する内容			授業時数
国語	話すこと・聞くこと 話すこと・聞くこと 書くこと	・ 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。 ・ 互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。 ・ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。		8
社会 (第5学年)	情報産業	・ 情報の種類、情報の活用の仕方などに着目して、産業における情報活用の現状を捉え、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、表現すること。		4
算数 (第5学年)	データの活用	・ 目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について多面的に捉え考察すること。		3
理科 (第5学年)	物質・エネルギー_第5学年	・ 「物質・エネルギー」の内容で学んだことを生かし、ものづくりを行うこと。		2
図工	表現	・ 絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たこと、伝え合いたいことから、表したいことを見付けることや、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながら、どのように主題を表すかについて考えること		3
総合	・ 地域の人、もの、ことの中から問いを見いだし、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理、分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けている。			15